



学校通信

令和6年9月27日

伊勢崎市立第二中学校 No.6

全国学力・学習状況調査結果について

今年度の「全国学力・学習状況調査」は4月16日（火）に生徒質問紙調査、18日（木）に国語・数学の学力調査が中学3年生を対象として実施されました。

その結果が返却されましたので、本校の傾向と課題、今後の学力向上に向けた取組等をお知らせします。

なお、学校の数値結果につきましては学校間の過度の競争や安易な序列化を招く要因となるおそれがあることから、市全体で公表しないという方針になっていますので、ご了承ください。

「全国学力・学習状況調査」の概要

□対象 中学3年生

□調査内容

①教科に関する調査

（国語、数学）

②学習意欲、学習方法、学習環境、

生活習慣等に関する調査

（生徒質問紙調査）

1 本校の傾向と分析

(1) 学力に関する全体的傾向

- 国語については、全国平均をやや下回りました。「言語についての知識及び技能」における言葉の特徴や使い方に関する事項と、情報の使い方に関する事項、「話すこと・聞くこと」の正答率は比較的高く、良い結果でした。「書く能力」や「読むこと」の正答率はやや低く、自分の考えが伝わる文章になるように根拠を明確にして書く力に課題が見られる結果となりました。
- 数学については、全国平均をやや下回りました。「図形」における回転移動に関する問題の正答率は比較的高く、良い結果でした。「数学的な思考、判断、表現」及び「知識・技能」の正答率は低く、事象を論理的に考察し、自分の考えを数学的な表現を用いて説明することに課題が見られる結果となりました。
- 無解答率は、問題形式が「選択式」の問題では全国平均と同程度でした。しかし、自分の考えを書いたり理由を説明したりする「短答式」や「記述式」の問題では無解答率が極端に高くなり、粘り強く考えを記述する姿勢に課題が見られる結果となりました。

(2) 国語に関して

〔良好な項目〕

- ◎資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができる。
- ◎目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。

〔課題がある項目〕

- ▲目的に応じて必要な情報に着目して要約すること。
- ▲表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。

(3) 数学に関して

〔良好な項目〕

- ◎問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができる。
- ◎グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができる。

〔課題がある項目〕

- ▲目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明すること。
- ▲事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。

(4) 生活習慣や学習環境等に関して

〔良好と考えられる項目〕

- ◎朝食を毎日食べている。
- ◎将来の夢や目標をもっている。
- ◎人が困っているときは進んで助けている。
- ◎いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ◎友達関係に満足している。
- ◎国語の授業は、将来、社会で役に立つ。
- ◎理科の授業は好き。

〔課題と考えられる項目〕

- ▲学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- ▲自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- ▲友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。

2 本調査結果から考えられる本校の課題

本調査によって分かるものは学力の一部ですが、結果から考えられる本校の課題は、次のようなものです。

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能を確実に定着すること。
- (2) 知識・技能を活用して、自分の考えを適切にまとめる力、課題解決の方法を説明する力、自分の考えを筋道立てて表現する力等を向上すること。
- (3) 自分の考えや意見をしっかりと発表できるようにすることや、他の人の考えをもとに自分の考えを広げたり深めたりすること。
- (4) 目的をもって計画的に家庭学習を進めるなど、基本的な学習習慣を定着すること。

3 課題解決のための方策(学力向上に向けた今後の取組)

- (1) 個々の生徒に対する指導について
○生徒へ結果を返却する際に、自分の課題を明らかにするよう助言をしました。さらに、個々の生徒の特徴を捉えて、よさを認め、一人一人に応じた継続的な指導を行います。
- (2) 学校全体としての取組について
○国語、数学だけでなく、すべての教科で次の視点から授業改善を行います。

教科のおもしろさや学ぶ楽しさを伝える魅力ある授業

- ・「わかった!」「できた!」「もっとやってみたい!」を実感できる授業づくりに引き続き取り組みます。
- ・ICTを有効活用し主体的に学ぶ意欲をより一層高めます。

「課題」と「振り返り」を明確にした授業

- ・授業の最初に「課題」を明確に示し、学習の目的や見通しをもたせます。
- ・授業の最後に「振り返り」の時間を確保し、その1時間にわかったこと、できたこと、身に付けた考え方などを振り返らせ、学習内容を確実に定着できるようにします。

課題解決の過程で、説明する活動を重視した授業

- ・課題解決に向け、考える時間や表現する時間を十分に確保した授業づくりに努めます。
- ・理由や根拠を説明させる活動を重視し、思考力・判断力・表現力を伸ばします。

学び合い活動を取り入れた授業

- ・グループ学習やペア学習を積極的に取り入れるとともに、ICTの効果的な活用により、意見や考えを交流させ、学びを深めたり広げたりできるようにします。

- (3) 家庭との連携について
ご家庭と連携し、基本的な生活・学習習慣の改善に向けて継続的な取組を行っていきたくと考えておりますので、ご協力をお願いいたします。
 - ・家庭で学習できる環境を整えていただき、自主的な学習習慣が定着できるようご協力をお願いします。
 - ・スマートフォン等については、親子でルールを決めて守らせるなど、節度ある利用となるようご指導ください。
 - ・引き続き、お子さんと会話をする時間を持ち、アドバイスや励ましをお願いします。

全国学力・学習状況調査の基本的な問題に挑戦!

<国語> 「みちたりた」の下線部のひらがなを漢字に直し、楷書で
ていねいに書きなさい。(全国正答率68.8%)

<数学> 連続する2つの偶数を、文字を用いた式で表します。
 n を整数とすると、連続する偶数を、それぞれ n を用いた
式で表しなさい。(全国正答率34.8%)

